

在日米軍横田基地第 374 空輸航空団と 防災及び災害対策に関する覚書を締結します

災害時には、迅速な対応と何よりも相互支援の精神が必要です。福生市では、横田基地内の第 374 空輸航空団と災害時の相互支援の実施に関する協議をしてきましたが、このたび、大規模災害が市域に発生した際に、相互に行う支援の基本的な考え方について定めた覚書を近日中に締結することとなりました。

覚書では、地震、台風、事故などによる大規模災害が発生した場合、相互に緊急的な救援活動を行っていくことを確認し、災害対策に関する相互支援体制を強化・改善していきます。

「防災及び災害対策に関する在日米軍横田基地第 374 空輸航空団と福生市との合意に関する覚書の概要」

- 1 対象となる災害
地震等の自然現象や重大な事故など
- 2 対象区域
原則として福生市及び横田基地の境界内
- 3 具体的な活動内容
 - ・ 捜索救助
 - ・ 救急治療・救命治療
 - ・ 瓦礫及び障害物撤去
 - ・ 食料、飲料水及び他の物資提供
 - ・ 人員、物資の輸送 など
- 4 締結者
 - ・ 福生市長 加藤 育男
 - ・ 在日米軍横田基地第 374 空輸航空団
司令官 マーク R. オーガスト大佐

【問合せ】 総務部安全安心まちづくり課防災係
電話：042-551-1638（直通）